

第 11 回 通常 総 会

1996年6月26日(水)



社団法人 人工知能学会

JAPANESE SOCIETY FOR ARTIFICIAL INTELLIGENCE



〒162 東京都新宿区津久戸町4-7

OSビル402号室

TEL. 03-5261-3401 FAX. 03-5261-3402

第11回通常総会次第

日 時 1996年6月26日(水) 17時40分～18時40分

場 所 早稲田大学国際会議場(東京・西早稲田)
〒169-50 東京都新宿区西早稲田 1-20-14

- 総会次第
1. 開会
 2. 会長挨拶
 3. 議長選出
 4. 1995年度事業報告
 5. 個人会員などの除名処分
 6. 1995年度決算報告および監査報告
 7. 1996年度事業計画案
 8. 1996年度予算案
 9. 1996年度役員構成案
 10. 1996年度評議員構成案
 11. 閉会

以上

1995年度事業報告

1. 概要

昨年度に引き続き、理事会および各委員会を中心に学会の基盤強化のための諸活動を推進するとともに、第9回全国大会の開催、会誌の隔月発行、研究会活動に重点を置き、学会活動の活性化および会員サービスの充実をはかるとともに会員外へのサービスとしてのセミナーも開催した。

7月25日から4日間にわたり学習院大学記念会館で開催した第9回全国大会は、一般論文発表161件、特別セッション論文発表22件、上村洸教授（東京理科大学）の特別講演および大槻説平教授（九州工業大学）の招待講演などで盛会裡に終了した。

会誌発行は、編集委員会の長期的な企画と周到な準備のもとに、各号論文特集、技術特集、解説連載およびAIマップなどのほか、引き続き好調な投稿論文の掲載で会誌の充実を図った。

研究会活動は、一昨年度から第2種としてスタートした「並列人工知能」研究会を加えて6研究会で、他学会研究会との共催を含め計19回の研究会および合同研究会“AIシンポジウム95”を開催し、研究発表148件、チュートリアル講演9件およびパネル討論3回が行われた。

セミナーは東京および大阪で合わせて3回開催し、何れも好評であった。

一昨年発足したIJCAI-97本委員会も1997年度日本開催のための準備を着々とすすめてある。1996年度開催のPRICAI-96への委員の選任および諸準備作業、エルゼビア社刊JAI (Journal of Artificial Intelligence) 誌特集号掲載の会誌論文選考も引き続き進められ、また、海外における人工知能関連シンポジウム、ワークショップ開催の協賛などの協調・連携活動も活発に行われた。

なお、当学会の設立10周年を迎えるため、記念事業などを企画・推進した。

2. 会員現況（1996年3月31日現在）

正会員	3,197名
学生会員	372名
名誉会員	5名
賛助会員	93社
特殊購読会員	103団体

3. 会誌の発行

- ◇第10巻3号（通巻51号）1995年5月1日発行
特集「コンピュータによる学習支援」、論文特集「コンピュータによる学習支援」、解説、AIマップ、論文5編、ショートノート、他
- ◇第10巻4号（通巻52号）1995年7月1日発行
小特集「アクティブビジョン」、解説、論文12編、ショートノート、他
- ◇第10巻5号（通巻53号）1995年9月1日発行
特集「エージェントの基礎と応用」、解説、AIマップ、論文9編、他
- ◇第10巻6号（通巻54号）1995年11月1日発行
小特集「コンピュータゲーム」、解説、AIマップ、論文11編、他
- ◇第11巻1号（通巻55号）1996年1月1日発行
小特集「知的メディア検索技術の動向」、解説、AIマップ、論文10編、他
- ◇第11巻2号（通巻56号）1996年3月1日発行
小特集「情報統合への視点」、解説、AIマップ、論文11編、他

4. 全国大会（第9回）の開催

- ◇期 日 1995年7月24日（月）～27日（木）
- ◇場 所 学習院大学記念会館（東京・目白）
- ◇構 成

- ・特別講演「計算機による物質の設計と現象の解明」
上村洸教授（東京理科大学）
- ・招待講演「教授と理解、発見と創造の相互作用—新しい教育支援に向けて—」
大槻説乎教授（九州工業大学）
- ・パネルディスカッション「人工知能と人工生命」
- ・研究会企画などによる特別セッション
 - 「メディアと認知科学」（研究会企画）
 - 「説明生成」（研究会企画）
 - 「エンターテインメントとAI」（研究会企画）
 - 「ものづくりの未来とAI」（応用）
 - 「マルチメディアとAI」（応用）
 - 「新重点領域研究とAI」（応用）
- ・一般応募講演 発表論文161件
- ・参加者 664名（内非会員22名、学生74名／論文集購入も含む）
- ・優秀論文表彰 優秀論文 5編
- ・チュートリアル講演
 - トラックⅠ 「人工知能入門」
 - トラックⅡ 「創発システム」
 - トラックⅢ 「マルチメディアとネットワーク」
- 参加者 166名（内非会員31名、学生20名）

5. シンポジウム／ワークショップの開催

◇第13回設計シンポジウム

- 期 日 1995年7月12日（水）・13日（木）
- 場 所 東京都立大学国際交流会館 大会議室（東京・八王子）
- 共 催 日本設計工学会（幹事学会）、人工知能学会、精密工学会、日本機械学会
- 構 成 記念講演、論文発表30件
- 参加者 75名

◇マシンインテリジェンスに関する国際ワークショップ1995

- 期 日 1995年7月26日（水）～28日（金）
- 場 所 オックスフォード（英国）
- 共 催 Turing Institute
- 後 援 Daiwa Foundation
- 構 成 招待講演5件、論文発表15件
- 参加者 40名（国内10名、国外30名）

◇第6回計算論的学習理論国際ワークショップALT'95

- 期 日 1995年10月18日（水）～20日（金）
- 場 所 福岡リーセントホテル（福岡・箱崎）
- 共 催 人工知能学会、九州工業大学、東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター
- 構 成 招待講演3件、論文発表21件
- 参加者 95名（国内75名、国外20名）

6. 研究会の開催

◇人工知能基礎論研究会

- ・第22回
 - 日 時 1995年6月26日（月） 9時10分～17時
 - 場 所 NTT弓町クラブ（東京・本郷）
 - 内 容 研究発表4件・連続討論講演3件／参加者14名
- ・第23回
 - 日 時 1995年9月19日（火） 9時～17時
 - 場 所 北陸先端科学技術大学院大学（石川県・辰口町）
 - 内 容 研究発表4件・連続討論講演3件／参加者19名
- ・第24回
 - 日 時 1996年3月1日（金） 9時～18時

場 所 電子技術総合研究所・本館D棟8階視聴覚室（茨城県・つくば市）
内 容 研究発表7件・連続討論講演2件／参加者26名

◇ヒューマンインターフェースと認知モデル研究会

- ・第25回
日 時 1995年5月19日（金） 13時～17時
場 所 北海道大学工学部（札幌市・北区）
内 容 研究発表5件／参加者21名
- ・第26回
日 時 1995年9月14日（木） 13時～17時
場 所 京都工芸繊維大学（京都市・吉田本町）
内 容 研究発表6件／参加者16名
- ・第27回
日 時 1996年3月25日（木） 13時～17時
場 所 静岡大学情報学部・図書館視聴覚室（静岡県・浜松市）
内 容 研究発表5件／参加者12名

◇知識ベースシステム研究会

- ・第31回
日 時 1995年5月23日（火） 10時10分～16時40分
場 所 上智大学四谷キャンパス・11号館3階第311会議室（東京・四ッ谷）
内 容 研究発表6件／参加者19名
- ・第32回
日 時 1995年9月18日（月） 10時10分～16時40分
19日（火） 10時10分～17時
場 所 筑波大学大塚キャンパス（東京・大塚）
内 容 研究発表8件・招待講演2件・パネル討論／参加者42名
- ・第33回
日 時 1996年1月19日（金） 9時30分～16時50分
場 所 同志社大学田辺キャンパス（京都府）
内 容 研究発表12件／参加者31名

◇言語・音声理解と対話処理研究会

- ・第11回
日 時 1995年6月5日（月） 11時～18時
場 所 電子技術総合研究所・本館8階視聴覚室（茨城県・つくば市）
内 容 研究発表7件／参加者27名
- ・第12回
日 時 1995年10月6日（金） 11時～16時20分
場 所 （株）国際電気通信基礎技術研究所・地階会議室01（京都府・精華町）
内 容 研究発表6件／参加者50名
- ・第13回
日 時 1996年2月9日（金） 9時～17時30分
場 所 筑波大学大塚キャンパス・G-204教室（東京・大塚）
内 容 研究発表7件／参加者、チュートリアル3件／参加者38名

◇知的教育システム研究会

- ・第11回
日 時 1995年4月21日（金） 9時40分～17時10分
場 所 東京理科大学神楽坂校舎・11号館1101教室（東京・神楽坂）
内 容 研究発表7件・招待講演1件／参加者29名
- ・第12回
日 時 1995年10月20日（金） 10時～17時
場 所 工学院大学・6階0650教室（東京・新宿）
内 容 研究発表8件・国際会議報告1件／参加者29名
- ・第13回
日 時 1996年3月24日（日） 13時～17時25分
25日（月） 9時～11時55分
場 所 KKR水上・水明荘（群馬県・水上町）
内 容 研究発表11件・招待講演1件／参加者32名

◇並列人工知能研究会

- ・第7回(全国大会特別セッションとして開催)
 - 日時 1995年7月27日(木) 10時40分～12時
 - 場所 学習院大学・百年記念会館(東京・目白)
 - 内容 研究発表3件/参加者150名
- ・第8回
 - 日時 1995年9月18日(月) 10時30分～17時
 - 場所 北陸先端技術大学院大学(石川県・辰口町)
 - 内容 研究発表5件/参加者30名
- ・第9回
 - 日時 1996年2月22日(木) 10時～17時
 - 場所 新情報処理開発機構筑波研究センタ(茨城県・つくば市)
 - 内容 研究発表7件/参加者30名

◇第6回合同研究会“AIシンポジウム'95”

- 日時 1995年12月7日(木) 9時30分～17時
- 8日(金) 9時30分～16時35分
- 場所 機械振興会館・研修-1号室、研修-2号室(東京・芝公園)
- 内容 研究発表19件/参加者51名
招待講演6件、全体討論、パネル討論/参加者87名

7. セミナーなどの開催

◇第29回人工知能セミナー

- ・テーマ: データベースからの知識発見
- ・期日: 1995年7月4日(火) 10時～17時15分
- ・場所: 日本ユニシス(株)赤坂ビル・セミナールーム(東京・赤坂)
- ・協賛: (社)情報処理学会、(社)電子情報通信学会、(社)計測自動制御学会、(社)電気学会、(社)精密工学会、(社)テレビジョン学会、(社)自動車技術会、(社)日本機械学会、(社)日本経営工学会
- ・プログラム:
 - 《 司 会 》 松田 純一氏(日立製作所)
 - (10:00～11:00) データベースからの知識発見の現状と動向
河野 浩之氏(京都大学)
 - (11:00～12:00) データベースからの関数依存性の発見
高須 淳宏氏(学術情報センター)
 - (12:00～13:00) 米国におけるデータマイニングの先端的活用事例
大浦 勇三氏(ADL, Japan)
 - (13:00～14:00) 休憩
 - (14:00～15:00) 遺伝子情報からの知識の発見
宮野 悟氏(九州大学)
 - (15:00～15:15) 休憩
 - (15:15～16:15) 製造業におけるデータマイニングの応用
前田 章氏(日立製作所)
 - (16:15～17:15) 流通業におけるデータマイニングの応用
森下 真一氏(日本アイ・ビー・エム)
- ・参加申し込: 71名

◇第30回人工知能セミナー

- ・テーマ: マルチメディア通信時代におけるAI
- ・期日: 1995年9月27日(水) 9時30分～17時30分
- ・場所: NTT武蔵野研究開発センタ講堂(東京・武蔵野市)
- ・協賛: (社)情報処理学会、(社)電子情報通信学会、(社)計測自動制御学会、(社)電気学会、(社)精密工学会、(社)テレビジョン学会、(社)自動車技術会、(社)日本機械学会、(社)日本経営工学会
- ・プログラム:
 - 《 司 会 》 セミナー「マルチメディア通信時代におけるAI」の開催にあたって
NTTコミュニケーション科学研究所 主幹研究員 飯田 敏幸氏

- 〈 9 : 30 ~ 10 : 30 〉 N T T のマルチメディア通信に対する取り組み
N T T 情報通信研究所 所長 安田 浩氏
- 〈 10 : 30 ~ 11 : 30 〉 マルチメディア通信時代におけるワークスタイル
慶應義塾大学理工学部 教授 松下 温氏
- 〈 11 : 30 ~ 13 : 20 〉 休憩・見学
- 〈 13 : 20 ~ 14 : 20 〉 放送サービスのインテリジェント化
N H K 放送技術研究所 主任研究員 福井 一夫氏
- 〈 14 : 20 ~ 15 : 20 〉 究極のマルチメディア通信サービスを目指して
A T R 音声翻訳通信研究所 社長 山崎 泰弘氏
- 〈 15 : 20 ~ 15 : 30 〉 休憩
- 〈 15 : 30 ~ 16 : 30 〉 マルチメディア通信時代のアミューズメント
(株)ナムコ 専務取締役 中村 繁一氏
- 〈 16 : 30 ~ 17 : 30 〉 インターネットは世界をこう変える
慶應義塾大学環境情報学部 助教授 村井 純氏

参加申し込み：105名

◇第31回人工知能セミナー

- ・テーマ：A I、マルチメディア、ネットワークを融合する先進的教育・訓練環境の実現
- ・期 日：1996年1月23日(火)9時30分～17時30分
- ・場 所：住友生命 釣鐘倶楽部(大阪・中央区釣鐘町)
- ・協 賛：(社)情報処理学会、(社)電子情報通信学会、(社)電気学会、(社)精密工学会、
(社)日本ロボット学会、日本ソフトウェア学会、(社)テレビジョン学会、日本ファジィ学会、
(社)日本O R学会、日本認知科学会、システム制御情報学会、(社)自動車技術会、
(社)日本機械学会、(社)日本経営工学会、(社)日本設計工学会、日本経営情報学会、
教育システム情報学会
- ・プログラム：
 - 《 司 会 》セミナー「A I、マルチメディア、ネットワークを融合する先進的教育・訓練環境の実現」の開催にあたって
三菱電機情報技術総合研究所 主管技師長 辻 秀一氏
 - 〈 9 : 30 ~ 10 : 30 〉 学習環境に対するA Iとマルチメディア技術のインパクト
九州工業大学情報工学部 教授 大槻 説乎氏
 - 〈 10 : 30 ~ 10 : 40 〉 休憩
 - 〈 10 : 40 ~ 11 : 40 〉 ネットワーク新時代における学習支援環境の構築に向けて
N T T 情報通信研究所 主幹研究員 福原 美三氏
 - 〈 11 : 40 ~ 12 : 40 〉 休憩
 - 〈 12 : 40 ~ 13 : 40 〉 協調分散学習環境構築のための基盤技術
電気通信大学大学院情報システム学研究科 教授 岡本 敏雄氏
 - 〈 13 : 40 ~ 14 : 40 〉 先進的訓練システムとその実際—原子力発電プラントの例—
日立製作所日立研究所 研究員 横田 毅氏
 - 〈 14 : 40 ~ 14 : 50 〉 休憩
 - 〈 14 : 50 ~ 15 : 50 〉 マルチメディアとシミュレータによる体験型訓練システムとその評価
三菱電機制御製作所 参事 本行 正信氏
 - 〈 15 : 50 ~ 16 : 00 〉 休憩
 - 〈 16 : 00 ~ 17 : 00 〉 パネル討論：「先進的教育・訓練環境の実現に向けて—現状と将来—」
オーガナイザー：大阪大学産業科学研究所 教授 溝口 理一郎氏
パネリスト：九州工業大学情報工学部 教授 大槻 説乎氏
N T T 情報通信研究所 主幹研究員 福原 美三氏
電気通信大学大学院情報システム学研究科 教授 岡本 敏雄氏
日立製作所日立研究所 研究員 横田 毅氏
三菱電機制御製作所 参事 本行 正信氏
関西電力電力システム室 課長 青嶋 義晴氏
電気通信大学電気通信学部電子情報科 教授 渡辺 成良氏

・参加申し込み：80名

8. 表彰

◇功績賞(学会設立10周年記念式典の1996年6月26日に表彰の予定)

功績賞規程および功績賞候補選定細則に基づき、正会員による候補の推薦および功績賞選定委員会の審査を経て、下記の3氏に功績賞が贈られることになった。

- ・「初代会長として学会の設立およびPRICA Iの設立等の功績」 福村 晃夫
- ・「初期の会長等の役員を歴任し、学会の立ち上げの功績」 大須賀 節雄
- ・「初期の会長等の役員を歴任し、学会の発展の功績」 辻 三郎

◇功労賞（学会設立10周年記念式典の1996年6月26日に表彰の予定）

功労賞規程および功労賞候補選定細則に基づき、正会員による候補の推薦および功労賞選定委員会の審査を経て、下記の2氏に功労賞が贈られることになった。

- ・「副会長などの役員を歴任し、学会の諸活動に対する功労」 戸田 巖
- ・「学会設立準備委員および初期の役員として学会の諸活動に対する功労」 上野 晴樹

◇業績賞（学会設立10周年記念式典の1996年6月26日に表彰の予定）

業績賞規程および業績賞候補選定細則に基づき、正会員による候補の推薦および業績賞選定委員会の審査を経て、下記の業績を上げられました3氏に業績賞が贈られることになった。

- ・「推論機構としてのロジックプログラミング技術の総合的研究の推進」 淵 一博
- ・「人工知能の基礎となる知識表現、学習などでの新技術の提案、AI技術の実用面における業績」 小林 重信
- ・「知識工学の鉄鋼業への適用拡大を推進し、実応用面の発展に貢献」 遠山 一郎

◇10周年記念論文賞（学会設立10周年記念式典の1996年6月26日に表彰の予定）

記念論文賞規程および記念論文賞候補選定細則に基づき、応募の有った論文26編を対象に、10周年記念論文賞選定委員会による審議および審査を経て、下記の2編の著者に10周年記念論文賞が贈られることになった。

- ・「実時間探索アルゴリズムの学習性能の改善」 石田 亨(正会員), 新保 仁(京都大学)
- ・「機能と振舞いのオントロジーに基づく機能モデル表現言語FBR Lの開発」 笹島 宗彦(正会員), 來村 徳信(正会員), 池田 満(正会員), 溝口理一郎(正会員)(大阪大学)

◇1995年度学会論文賞（第10回全国大会の1996年6月26日に表彰の予定）

論文賞規程および論文賞候補選定細則に基づき、会誌第10巻第1号～第10巻6号に発表された論文（ショートノート、技術資料を含む）65編を対象に、正会員による候補の推薦および論文賞選定委員会の審査を経て、下記の3編の著者に論文賞が贈られることになった。

- ・「決定表における知識の理解しやすさの改善」 (Vol. 10, No.) 杉浦 淳・古関義幸
- ・「知識ベース独立のための演繹オブジェクト指向プログラミング」 (Vol. 10, No.) 柳沢 豊・塚本昌彦・劉 渤江・西尾章治郎
- ・「記憶に基づく推論による天気予測」 (Vol. 10, No.) 毛利隆夫・田中英彦

◇1995年度研究奨励賞（第6回合同研究会1995年12月7日に表彰）

研究奨励賞規程および研究奨励賞選定細則に基づき、1994年度の研究発表を対象に、研究会登録会員による研究奨励賞候補選定委員会による審査を経て、下記の7件の著者に研究奨励賞が贈られた。

- 〈人工知能基礎論研究会〉
 - ・SIG-FAI-9402-9 「抽象化と帰納的アルゴリズム」 新妻清三郎(静岡大学)、山田 和年(イージーコンピュータシステム)
- 〈ヒューマンインタフェースと認知モデル研究会〉
 - ・SIG-HICG-9401-2 「CastingNet: 知的作業を支援するためのハイパーメディアフレームワーク」 植田 学、増田 佳弘、石飛 康浩(富士ゼロックス)
- 〈知識ベースシステム研究会〉
 - ・SIG-KBS-9403-9 「ユーザー適応機能を持った知的インターフェース」 吉田 健一、元田 浩(日立製作所 基礎研究所)
- 〈言語・音声理解と対話処理研究会〉
 - ・SIG-SLUD-9402-1 「確率モデルによる自由発話の形態素解析」 永田 昌明(NTT情報通信研究所)
- 〈知的教育システム研究会〉
 - ・SIG-IES-9403-1 「WWW(World-Wide Web)を用いた分散型知的CAIシステム」 仲林 清、小池 義昌、丸山 美奈、東平 洋史、石打 智美、福原 美三(NTT情報通信研究所)
 - ・SIG-IES-9403-4 「マルチメディア語学学習環境のオーサリングシステムとその評価」 國近 秀信、竹内 章、大槻 説乎(九州工業大学)
- 〈並列人工知能研究会〉
 - ・SIG-PPAI-9403-4 「アミューズメントへの人工生命の応用」 赤尾 容子(ナムコ研究部)

◇全国大会（第9回）優秀論文賞の表彰（第9回全国大会1995年7月26日に表彰）

全国大会優秀論文賞規程および全国大会優秀論文賞選定細則に基づき、発表論文168編を対象に、全国大会優秀論文賞選定委員会の審査を経て、下記の5編の著者に優秀論文賞が贈られた。

- ・論文番号 3-03 「時間論理を導入した履歴指向挙動予測手法」
鷺尾 隆 (三菱総研)、北村 正晴 (東北大)
- ・論文番号 7-05 「既存知識と事例にもとづく融合型学習手法」
石井 恵、秋葉 泰弘、金田 重郎 (NTT)
Hussein Almuallin (サウジアラビア石油鉱物大)
- ・論文番号 10-05 「帰納論理プログラミング過程を用いた射出成形品金型の自動設計」
三原 功雄、沼尾 正行 (東工大)
- ・論文番号 14-02 「遺伝的アルゴリズムに基づく多目的最適化における棲分け」
高田 康行、山村 雅幸、小林 重信 (東工大)
- ・論文番号 15-06 「オントロジーを用いた情報の自動収集と分類へのアプローチ」
岩爪 道昭、武田 英明、西田 豊明 (奈良先端大)

(いずれの方も敬称省略)

9. 共催、協賛、後援などの催し物 (1995年度承認分)

以下のように催し物の共催6件、協賛71件、後援10件および会誌掲載37件により、他学会などと協調して学会活動の活性化および多様化をすすめました。

【共催】—6件—

- ◇情報学シンポジウム
主 催：日本学術会議、情報処理学会、他の共催
期 日：1996年1月17日(水)、18日(木)
- ◇日本工学会「公開講演会」
主 催：日本工学会
共 催：日本工学会加盟の全学協会
期 日：1995年12月1日(金)
- ◇宇宙用人工知能・ロボティクス・オートメーション 国際シンポジウム'97 (i-SAIRAS'97)
主 催：i-SAIRAS'97実行委員会
期 日：1997年7月14日(月)～16日(水)
- ◇第7回計測連合シンポジウム「先端計測'96」
主 催：日本学術会議計測工学研究連絡委員会
期 日：1996年5月22日(水)～23日(木)
- ◇生産スケジューリング・シンポジウム'96
共 催：日本経営工学会(幹事学会)、日本OR学会、日本機械学会、システム制御情報学会
人工知能学会
期 日：1996年10月3日(水)
- ◇第6回インテリジェントシステム・シンポジウム
主 催：日本機械学会
期 日：1996年10月25日(金)26日(土)

【協賛】—71件—

- ◇平成7年度第1回ORセミナー『実践的スケジューリングの方法』
主 催：(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会
期 日：1995年6月1日(木)9:30～16:00
- ◇カラーフォーラムJAPAN'95
主 催：カラーフォーラムJAPAN'95実行委員会
期 日：1996年10月24日(火)～26日(木)
- ◇第4回「運動と振動の制御」シンポジウム
主 催：(社)日本機学会
期 日：1995年7月10日(月)～12日(水)の3日間
- ◇第10回生体・生理工学シンポジウム
主 催：(社)計測自動制御学会
期 日：1995年11月30日(木)～12月2日(土)
- ◇バーチャルシステム・マルチメディア'95岐阜(VSMM'95)
主 催：VSMM'95 in Gifu実行委員会
バーチャルシステム・マルチメディア国際学会設立準備委員会
期 日：1995年9月18日(月)～20日(水)の3日間
- ◇1996年知能ロボットとシステムに関する国際会議'96 (IROS'96)

- 主 催：日本ロボット学会、ニューテクノロジー振興財団、計測自動制御学会
I E E E Industrial Electronics Society & Robotics and Automation Society
- 期 日：1996年11月4日(月)～8日(金)の5日間
- ◇システム制御情報イノベーション・マルチメディア講座「ニューネットの基礎と応用」
- 主 催：システム制御情報学会
- 期 日：1995年6月6日(火)・9(金)・13(火)・16(金)・20(火)
- ◇制御工学の新たなシーズとニーズを産業応用に求めて—SICE夏期セミナー'95
- 主 催：(社)計測自動制御学会
- 期 日：1995年8月7日(月)～11日(金)
- ◇第217回講習会
「すぐ使える小型・マイクロセンサー講師と対話して理解する最新センサーのノウハウ」
- 主 催：(社)精密工学会
- 期 日：1995年7月11日(火)
- ◇電気通信フロンティア研究開発に関する国際フォーラム
- 主 催：郵政省、財団法人テレコム先端技術研究支援センター
- 期 日：1995年11月29日(水)・30日(木)予定
- ◇第57回ロボット利用技術講習会
- 主 催：(社)日本ロボット工業会
- 期 日：東京；1995年7月13日(木)～14日(金)
大阪；1995年7月20日(木)～21日(金)
- ◇第16回バイオメカニズム学術講演会
- 主 催：第16回バイオメカニズム学術講演会実行委員会
- 期 日：1995年11月25日(土)～26日(日)
- ◇教育システム情報学会(旧CAI学会)第20回全国大会
- 主 催：教育システム情報学会(旧CAI学会)第20回全国大会実行委員会
- 期 日：1995年8月4日(金)～5日(土)
- ◇第2回マルチエージェントシステム国際会議
- 主 催：ICMAS実行委員会
- 期 日：1996年12月9日(月)～13日(金)
- ◇第5回ロボットセンサシンポジウム
- 主 催：計測自動制御学会(幹事学会)、日本ロボット学会、日本機学会
- 期 日：1996年4月19日(金)～20日(土)
- ◇システム制御情報学会セミナー'95
- 主 催：システム制御情報学会
- 期 日：1995年9月19日(火)～20日(水)
- ◇'95国際ロボット展併催ロボットシンポジウム
- 主 催：(社)日本ロボット工業会
- 期 日：1995年9月27日(水)
- ◇第218回講習会—これからの精密位置決め技術—
- 主 催：精密工学会
- 期 日：1995年10月17日(火)
- ◇SICEセミナー—現代制御理論入門—
- 主 催：計測自動制御学会
- 期 日：1995年10月17日(火)～18日(水)
- ◇INTERMAC'95 SICEシンポジウムIN晴海
- 主 催：計測自動制御学会
- 期 日：1995年10月31日(火)～11月2日(木)
- ◇第3回人工物工学シンポジウム
- 主 催：東京大学人工物工学研究センター
新プログラム「工学を総合化する知的人工物に関する研究」グループ
文部省科学研究費
- 期 日：1995年10月12日(木)～13日(金)
- ◇'95センシング技術応用セミナー—アメニティのセンシング技術—
- 主 催：(社)大阪府技術協会 センシング技術応用研究会
- 期 日：1995年11月22日(水)
- ◇第8回知的システムシンポジウム
- 主 催：(社)日本建築学会
- 期 日：1995年11月2日(木)
- ◇第8回自立分散システムシンポジウム
- 主 催：計測自動制御学会

- 期 日：1996年1月17日(水)～18日(木)
- ◇第8回PROLOG産業応用シンポジウム
主 催：INAP'95実行委員会
期 日：1995年10月19日(木)～20日(金)
- ◇第35回IEEE決定と制御に関する会議
共 催：IEEE Control Systems、計測自動制御学会およびシステム制御情報学会
期 日：1996年12月11日(水)～13日(金)
- ◇国際AIシンポジウム95名古屋
主 催：国際AIシンポジウム95名古屋開催協議会
期 日：1995年11月15日(水)～17日(金)
- ◇第4回TDU AI講座
主 催：東京電機大学
期 日：1995年11月7日(火)～8日(水)
- ◇経営情報学会1995年度シンポジウム
企業間ネットワークと競争優位性-ECRとCALISを探る-
主 催：経営情報学会
期 日：1995年10月11日(水)
- ◇第45回システム制御情報講習会-仮想メディア技術の現状と将来-
主 催：システム制御情報学会
期 日：《大阪会場》1996年2月7日(水)～8日(木)
《東京会場》1996年2月14日(水)～15日(木)
- ◇SICEセミナー-ロバスト制御-
主 催：(社)計測自動制御学会
期 日：1996年1月18日(木)～19日(金)
- ◇第5回バイオ素子国際シンポジウム(BMED'95&MEBC'95)
主 催：(財)新機能素子研究開発協会
期 日：1995年11月28日(火)～30日(木)
- ◇第35回IEEE CDC'96国際会議
共 催：IEEE、システム制御情報学会、計測自動制御学会
期 日：1996年12月11日(水)～13日(金)
- ◇ロボティクス・メカトロニクス講演会
主 催：(社)日本機械学会
期 日：1996年6月20日(木)～21日(金)
- ◇第3回教育システム情報学会主催セミナー
主 催：教育システム情報学会
期 日：1995年12月14日(木)
- ◇平成7年度第2回ORセミナー-数理計画モデルの応用=構築と解法と分析-
主 催：(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会
期 日：1995年12月14日(木)
- ◇第58回ロボット利用技術講習会
主 催：(社)日本ロボット工業会
期 日：東京会場 1995年11月30日(木)、12月1日(金)
大阪会場 1995年12月7日(木)、12月8日(金)
- ◇3次元画像コンファレンス'96
主 催：3次元画像コンファレンス'96実行委員会
期 日：1996年7月11日(木)～12日(金)
- ◇「脳機能情報処理(ブレンウェア)」ワークショップ
主 催：(財)新機能素子研究開発協会
期 日：1996年2月19日(月)
- ◇IAPR国際ワークショップ-MVA'96
主 催：MVA'96実行委員会
期 日：1996年11月12日(火)～14日(木)
- ◇第1回ロボティクスシンポジア
主 催：日本ロボット学会、計測自動制御学会、日本機械学会
期 日：1996年5月16日(木)、17日(金)
- ◇第20回ロボット・ビデオフェスティバル
主 催：日本ロボット工業会
期 日：東京 1996年2月15日(木)
大阪 1996年2月23日(金)
- ◇第15回シミュレーション・テクノロジー・コンファレンス

- 主 催：日本シミュレーション学会
 期 日：1996年8月19日(水)、20日(木)
- ◇SICEセミナー「バーチャルリアリティーを支える計測・制御技術最前線」
 主 催：(社)計測自動制御学会
 期 日：1996年3月8日(金)
- ◇IEEE/IES主催国際シンポジウム「インテリジェントビークルズ'96」シンポジウム
 主 催：インテリジェントビークルズ'96シンポジウム ローカルチェア 青木正喜
 期 日：1996年9月18日(水)
- ◇最適化シンポジウム'96-OPTIS'96-
 主 催：日本機械学会
 期 日：1996年9月12日(木)～13日(金)
- ◇第12回ヒューマン・インタフェース・シンポジウム
 主 催：計測自動制御学会
 期 日：1996年10月22日(火)～25日(金)
- ◇第14回日本ロボット学会学術講演会
 主 催：(社)日本ロボット学会
 期 日：1996年11月1日(金)～3日(日)
- ◇First Pacific-Asia Conference on Knowledge Discovery and Data Mining (PAKDD'97)
 主 催：JAPAN-SINGAPORE AI CENTRE
 期 日：1997年2月 日()～ 日()
- ◇第4回ラフ集合・ファジィ集合・機械発見に関する国際会議(RSFD'96)
 主 催：(社)情報処理学会
 期 日：1996年11月6日(水)～8日(金)
- ◇First Australian Data Fusion Symposium(ADFS-96)
 期 日：1996年11月21日(木)～22日(金)
- ◇第12回ファジィシステムシンポジウム
 主 催：日本ファジィシステム学会
 期 日：1996年6月4日(火)～7日(金)
- ◇第71回塑性加工講習会「PL法と塑性加工」
 主 催：日本塑性加工学会
 期 日：1996年5月23日(木)
- ◇SICE夏期セミナー'96「実プラントのモデリングとH ∞ 制御」
 主 催：計測自動制御学会
 期 日：1996年6月9日(日)～12日(水)
- ◇5th IEEE International Workshop on Robot and Human Communication (ROMAN'96)
 共 催：IEEE Industrial Electronics Society, (社)計測自動制御学会、(社)日本機械学会、
 (社)日本ロボット学会、(財)ニューテクノロジー振興財団
 期 日：1997年11月11日(月)～14日(木)
- ◇第222回講習会「インターネット-製造業でいかに活用するか?」
 主 催：精密工学会
 期 日：1996年4月12日(金)
- ◇第3回自律分散型ロボットシステムに関する国際シンポジウム
 主 催：理化学研究所
 期 日：1996年10月29日(火)～31日(木)
- ◇講習会「ソフト・コンピューティングの空調・衛生設備分野への応用手法と適用事例」
 主 催：日本ファジィ学会
 期 日：1996年3月25日(月)
- ◇カラーフォーラムJAPAN'96
 主 催：光学4学会幹事会
 期 日：1996年9月10日(火)～12日(木)
- ◇第23回知能システムシンポジウム
 主 催：(社)計測自動制御学会
 期 日：1996年3月22日(金)23日(土)
- ◇計測自動制御学会関西支部「講習会」
 主 催：計測自動制御学会関西支部
 期 日：1996年8月18日(火)
- ◇システム制御情報チュートリアル講座'96
 主 催：システム制御情報学会
 期 日：1996年7月17日(水)18日(木)
- ◇Computer Graphics Osaka 96 展示会ならびにシンポジウム

- 主 催：(社) 日本能率協会
期 日：1996年6月19日(水)～21日(金)
- ◇日本神経回路学会第7回全国大会
主 催：日本神経回路学会
期 日：1996年9月9日(月)～11日(水)
- ◇INTERNATIONAL CONFERENCE ON INDUSTRIAL & ENGINEERING APPLICATIONS OF ARTIFICIAL INTELLIGENCE & EXPERT SYSTEMS (IEA/AIE-97)
主 催：INTERNATIONAL SOCIETY OF APPLIED INTELLIGENCE
期 日：1997年6月10日(火)～13日(金)
- ◇第39回自動制御連合講演会
主 催：システム制御情報学会
期 日：1996年10月16日(水)～18日(金)
- ◇第11回生体・生理工学シンポジウム
主 催：(社)計測自動制御学会
期 日：1996年11月27日(水)～29日(金)
- ◇THE PACIFIC ASIAN CONFERENCE ON EXPERT SYSTEMS AND THE SINGAPORE INTERNATIONAL CONFERENCE ON INTEL LIGENT SYSTEMS
主 催：PACES97/SPICIS97 INTERNATIONAL STEERING COMMITTEE MEMBER
期 日：SUBMISSIONS DUE: 1996年6月15日
- ◇第3回関西情報関連学会連合大会
主 催：(社)情報処理学会関西支部、(社)計測自動制御学会関西支部、システム制御情報学会、社会・経済システム学会関西支部、日本ファジィ学会関西支部
期 日：1996年7月12日(金)
- ◇第59回ロボット利用技術講習会
主 催：(社)日本ロボット工業会
期 日：1996年5月16日(木)、17日(金)名古屋会場
1996年5月23日(木)、24日(金)東京会場
- ◇第12回ヒューマン・インタフェース・シンポジウム
主 催：計測自動制御学会
期 日：1996年10月22日(火)～25日(金)

《後 援》—10件—

- ◇第4回ソフトコンピューティングに関する国際会議
主 催：国際ファジィシステム学会、国際ニューラルネットワーク学会他
期 日：1996年9月30日(月)～10月5日(土)
- ◇第7回電気通信フロンティア研究国際フォーラム
主 催：郵政省、財団法人テレコム先端技術研究支援センター
期 日：1995年11月29日(水)～11月30日(木)
- ◇第10回「大学と科学」公開シンポジウム—情報スーパー・ハイウェイ—加速する研究・教育・医療—
主 催：学術情報センター
期 日：1995年12月5日(火)～6日(水)
- ◇第10回「大学と科学」公開シンポジウム—脳研究の最前線—遺伝子から知能へ—
主 催：(代表)外山敬介京都府立医科大学教授
期 日：1996年2月1日(木)～2日(金)
- ◇第15回CODATA国際会議
主 催：日本学術会議、第15回CODATA国内委員会、他
期 日：1996年9月29日(日)～10月5日(土)
- ◇第10回「大学と科学」公開シンポジウム—情報スーパーハイウェイ—脳研究の最前線—
主 催：文部省学術国際情報課
期 日：1996年2月1日(木)～2日(金)
- ◇第10回「大学と科学」公開シンポジウム (先月決裁済)
—脳研究の最前線—遺伝子から知能へ—
主 催：(代表)外山敬介京都府立医科大学教授
期 日：1996年2月1日(木)～2日(金)
- ◇第10回「大学と科学」公開シンポジウム—情報スーパーハイウェイ—
主 催：文部省学術国際情報課
代表者 学術情報センター 井上 如 教授
期 日：1995年12月5日(火)～6日(水)
- ◇「音声対話理解シンポジウム」
主 催：文部省重点領域研究「音声対話」総括班

- 期 日：1995年11月17日(金)
 ◇第3回アジア学術会議—科学者フォーラム—
 主 催：日本学術会議
 期 日：1996年3月25日(月)～28日(木)

【会誌掲載】—37件—

- ◇第38回自動制御連合講演会—募集要項—
 期 日：1995年12月4日(月)～6日(水)
 主 催：(社)計測自動制御学会
- ◇3次元画像コンファレンス'95
 期 日：1995年7月6日(木)・7日(金)
 主 催：3次元画像コンファレンス'95実行委員会
- ◇TEPIA第8回展示について
 主 催：財団法人機械産業記念事業団
 期 日：1995年4月28日(金)～12月15日(金)
- ◇Computer Visualization Contest
 主 催：日経サイエンス社
 応募〆切：1995年6月2日(金)
- ◇第13回設計シンポジウム—開催案内—
 期 日：1995年7月12日(水)・13日(木)
 主 催：当学会も共催
- ◇第9回人工知能とエキスパートシステムの産業と工学応用の国際会議—開催案内—
 期 日：1996年6月4日(火)～7日(金)
 主 催：IEA/AIE-96実行委員会
- ◇囲碁ソフト選手権大会
 期 日：募集；1995年6月～8月末、対戦；1995年9月29日～30日
 主 催：財団法人 科学技術融合振興財団
 共 催：日本コンピュータ囲碁協会
- ◇日本神経回路学会第6回全国大会(JNNS'95 仙台)講演募集・参加案内
 期 日：1995年10月18日～20日
 主 催：日本神経回路学会
- ◇第29回国際会議のためのセミナー
 期 日：1995年9月23日(土)～24日(日)
 主 催：(社)日本工学会
- ◇サイエン・ボランティア募集について
 期 日：募集；1995年10月末
 主 催：文部省
- ◇生産スケジューリング・シンポジウム'95
 期 日：1995年10月2日(月)
 共 催：システム制御情報学会(幹事学会)、日本機械学会、日本経営工学会、
 日本オペレーションズ・リサーチ学会、人工知能学会
- ◇第9回地球環境研究者交流会議—地球環境研究総合推進費研究成果発表会—
 期 日：1995年10月2日(月)～6日(金)
 主 催：環境庁地球環境部研究調査室
 環境庁国立環境研究所地球環境研究センター
- ◇AIENG 96
 期 日：1996年9月11日(水)～13日(金)
 共 催：Wessex Institute of Technology, Southampton, UK
 College of Engineering, University of South Florida, USA
- ◇日本工学会「公開講演会」
 主 催：日本工学会
 共 催：日本工学会加盟の全学協会
 期 日：1995年12月1日(金)
- ◇求人広告(琉球大学工学部教官公募)
 対象領域：情報工学科 教授3名 助教授1名
 募集期間：1995年9月1日(木)～10月16日(月)以降1996年3月28日(金)まで
- ◇平成7年度宇宙飛行士候補者の募集について
 対象領域：情報工学科 教授3名 助教授1名
 募集期間：1995年9月1日(木)～10月16日(月)以降1996年3月28日(金)まで
- ◇教官の募集について

- 対 象：助手1名
 募集期間：1995年11月末日
- ◇カラーフォーラムJAPAN'95参加募集文 掲載のお願い
 主 催：光学四学会幹事会
 期 間：1995年10月25日(水)～10月26日(木)
 - ◇第10回「人間と科学」公開シンポジウム—情報スーパー・ハイウェイ—
 期 間：1995年12月5日(火)～12月6日(水)
 - ◇「日本学術会議だより」第38号
 主 催：日本学術会議広報委員会
 - ◇求人広告(文教大学教員公募)
 対象領域：情報システム(及び関連専攻分野) 教授1名
 募集期間：～1995年12月15日(金)まで
 - ◇第5回「基礎研究の振興と科学技術教育」シンポジウム
 主 催：日本工学会・日本工学教育協会
 期 間：1995年12月18日(月)
 - ◇「日本学術会議だより」第39号
 主 催：日本学術会議広報委員会
 - ◇求人広告依頼
 対象領域：電子情報工学科情報コース助教授1名
 募集期間：～平成8年3月29日(金)
 - ◇茨城大学工学部システム工学科教官募集
 募集人員：助教授1名, 専門分野：計算機応用学講座
 応募締切：平成8年5月31日
 - ◇第9回人工知能とエキスパートシステムの産業と工学応用の国際会議(IEA/AIE-96)
 主 催：International Society of Applied Intelligence Fukuoka Institute of Technology
 日 時：1996年6月4日(火)～7日(金)
 - ◇教員の公募について
 募 集 校：立命館大学理工学部
 応募締切：1996年5月31日(金)必着
 - ◇第1回エデュテイメント・ソフトウェア・コンテスト
 主 催：(財)科学技術融合振興財団
 応募締切：1996年12月31日(火)
 - ◇第9回「学協会共通問題に関する討論会」について
 主 催：(社)日本工学会
 日 時：1996年4月19日(金)
 - ◇Neural Information Processing System -- Natural and Synthetic
 主 催：NIPS Foundation
 日 時：1996年12月2日(月)～7日(土)
 - ◇教官募集について
 募集人員：宮崎大学工学部 助教授1名
 担当科目：情報数学、オートマトン
 応募締切：1996年8月15日(木)
 - ◇3次元画像コンファレンス'96プログラム
 主 催：3次元画像コンファレンス実行委員会
 日 時：1996年7月11日(木)9:50～17:30
 12日(金)9:30～17:55
 - ◇理化学研究所 バイオ・ミメティックコントロール研究センター フロンティア研究員募集
 主 催：理化学研究所 バイオ・ミメティックコントロール研究推進室
 - ◇教官募集について
 募集人員：九州工業大学情報工学部 助教授1名
 担当科目：知能情報工学科
 応募締切：1996年7月31日(水)
 着任時期：1996年10月1日(火)以降のできるだけ早い時期
 - ◇教員募集について
 募集人員：大阪工業大学工学部
 - ◇i-SAIRAS'97講演募集について
 主 催：i-SAIRAS'97
 日 時：1997年7月14日(月)～16日(水)

10. 会議

◇1995年度第10回通常総会

6月23日(金)に東京工業大学百年記念会館フェライト会議室(東京・大岡山)で開催した。出席者は638名(委任状を含む)であった。1994年度事業報告、1995年度事業計画、1995年度役員構成などの議案審議、決裁した。

◇理事会

8月を除く各月に計11回開催した。

◇1995年度評議員会

定例会議を6月23日(金)に開催し、当日出席51名(委任状を含む)、総会議題、学会運営について審議を行った。

◇委員会

本年度は、委員会の新設が3件であり、廃止はなかった。即ち、将来ビジョン検討委員会、功績賞・功労賞・業績賞選定委員会、設立10周年記念式典実行委員会のいずれも時限委員会として新設・活動した。常設の会誌編集委員会、研究会運営委員会、研究集会審議委員会、企画委員会、全国大会委員会、同プログラム委員会、広報委員会、財務委員会(予算小委員会が増新設された。)、渉外委員会、総務委員会、出版委員会、JAI選考委員会、IJCAI-97本委員会、同実行委員会がそれぞれ随時開催された。

11. 規程などの制定・改正・廃止、契約締結、覚書交換および認可など

◇下記の通り規程などの制定・改正・廃止が行われた。

・研究集会審議委員会規程	1995年11月22日
・財務委員会規程	1995年10月27日
・予算小委員会細則	1995年10月27日
・総務委員会規程	1995年7月25日
・功績賞規程および功績賞候補選定細則	1995年10月27日
・功労賞規程および功労賞候補選定細則	1996年2月23日
・業績賞規程および業績賞候補選定細則	1995年10月27日
・記念論文賞規程および記念論文賞候補選定細則	1995年11月22日
・研究奨励賞規程および研究奨励賞選定細則	1995年9月22日
・役員選任規程および役員候補者選出および選挙の実施に関する細則	1995年9月22日
・評議員選任規程および評議員候補者選出および選挙の実施に関する細則	1995年9月22日
・事務局職員に関する就業規則	1995年4月28日
・賃金及び旅費規則	1995年4月28日

◇社団法人人工知能学会・新役員登記(1995/08/02)

12. 学会設立10周年記念事業

1996年度は学会設立10周年を向かえることになり、これを記念する事業を以下のように企画・検討・推進した。

◇設立10周年記念式典

- ・日時: 6月26日(水) 午後3時~午後5時30分
- ・場所: 早稲田大学国際会議場
- ・式典: 開会の辞
会長挨拶
来賓挨拶
功績賞表彰
功労賞表彰
業績賞表彰
十周年記念論文賞表彰
十周年記念特別講演
評論家
東大先端科学技術研究センター客員教授
立花 隆氏

演題「人工知能の過去・現在・未来」
閉会の辞

- ◇功績賞・功労賞・業績賞の新設
・上記記念式典において表彰式を行う。
- ◇設立10周年記念大会
・1996年度(第10回)全国大会を設立10周年記念大会として行う。
- ◇設立10周年記念小中学生作品コンテスト
・テーマ 科学技術の未来について(作文、絵画、音楽、ビデオ、ホームページなど)
・対象 小学生および中学生
・締切 1996年9月20日(金)
・表彰式 設立10周年記念合同研究会AIシンポジウム'96の会場で行う。
- ◇設立10周年記念合同研究会AIシンポジウム'96
・1996年12月4日(水)～6日(金)機械振興会館にて行う。
- ◇会誌10周年記念特集号
・1996年5月1日発行の第11巻第3号(通巻51号)を記念特集号として発行した。
- ◇会誌バックナンバーのCD-ROM化
・上記の記念特集号の付録として配布した。
- ◇学会の将来ビジョンの策定
・田中英彦委員長以下16名の委員会構成で1年を掛けてワークした結果を将来計画委員会答申書としてまとめられた。
- ◇会員名簿の発行
・1996年9月に発行の予定日程にて会員からの登録データの送付を依頼している。

以上

個人会員等の除名処分について

会費の徴収および学会機関誌の配布に関する細則に基づき、1994年度会費およびそれ以前の年度会費未納その他による個人会員234名を1995年度末をもって除名致します。

入会年度	会費未納期限	通信先不明期限	退会保留期限	合 計
	正 学 計	正 学 計	正 学 計	正 学 計
1986	$49 + 4 = 53$	$3 + 1 = 4$	$4 + 0 = 4$	$56 + 5 = 61$
1987	$23 + 1 = 24$	$2 + 0 = 2$	$1 + 0 = 1$	$26 + 1 = 27$
1988	$25 + 1 = 26$	$2 + 1 = 3$	$0 + 0 = 0$	$27 + 2 = 29$
1989	$12 + 0 = 12$	$3 + 1 = 4$	$2 + 0 = 2$	$17 + 1 = 18$
1990	$16 + 4 = 20$	$0 + 1 = 1$	$2 + 0 = 2$	$18 + 5 = 23$
1991	$10 + 5 = 15$	$1 + 3 = 4$	$2 + 0 = 2$	$13 + 8 = 21$
1992	$7 + 13 = 20$	$1 + 7 = 8$	$1 + 0 = 1$	$9 + 20 = 29$
1993	$5 + 13 = 18$	$2 + 3 = 5$	$0 + 1 = 1$	$7 + 17 = 24$
1994	$1 + 0 = 1$	$0 + 1 = 1$	$0 + 0 = 0$	$1 + 1 = 2$
1995	$0 + 0 = 0$	$0 + 0 = 0$	$0 + 0 = 0$	$0 + 0 = 0$
合計	$148 + 41 = 189$	$14 + 18 = 32$	$12 + 1 = 13$	$174 + 60 = 234$

以 上

(社) 人工知能学会 1995年度決算報告書

<1995年4月1日~1996年3月31日>

貸借対照表

(1996年3月31日)

1) 資産の部

科 目	金 額
1. 流動資産	92,201,547
(1) 現金預金	102,568
現金	18,516,259
預金	61,417,158
定期預金	
(2) 未収金	8,388,562
(3) 担保金	777,000
(4) 貸出金	3,000,000
2. 固定資産	4,564,584
(1) 入居保証金	4,344,000
(2) 電話架設料	220,584
資 産 合 計	96,766,131

2) 負債の部

科 目	金 額
1. 流動負債	18,004,470
(1) 前納金	12,106,300
(2) 未払い金	5,898,170
2. 固定負債	26,417,158
(1) 国際会議積立金	20,033,090
(2) ALT積立金	1,582,529
(3) JKAW積立金	724,723
(4) 退職金引当金	0
(3) 会費未納分除却引当金	2,367,377
(4) 事務所整備積立金	201,919
(5) 10周年記念事業引当金	1,007,520
(6) 名簿発行準備金	500,000
負 債 合 計	44,421,628

3) 正味財産の部

科 目	金 額
1. 基本財産	35,000,000
(1) 基本財産	35,000,000
2. 剰余金	17,344,503
(1) 次期繰越収支差額	17,344,503
正 味 財 産 合 計	52,344,503

4) 合計

負債および正味財産合計	96,766,131
-------------	------------

財産目録

(1996年3月31日)

科 目	金 額
(資産の部)	
1. 流動資産	92,201,547
(1) 現金預金	80,035,985
イ) 現金	
現金手持ち有り高	102,568
ロ) 普通預金	
第一勧業銀行飯田橋支店 (会長口座)	10,843,033
郵便貯金 (会長口座)	416,019
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	1,644,726
第一勧業銀行飯田橋支店 (事務局長口座)	1,242,438
ハ) 振替貯金	
東京振替貯金局	4,370,043
ニ) 定期預金	
第一勧業銀行飯田橋支店	35,000,000
東京三菱銀行神楽坂支店	14,000,000
東京三菱銀行神楽坂支店	6,033,090
東京三菱銀行神楽坂支店	1,582,529
東京三菱銀行神楽坂支店	724,723
東京三菱銀行神楽坂支店	2,367,377
東京三菱銀行神楽坂支店	201,919
東京三菱銀行神楽坂支店	1,507,520
(2) 未収金	8,388,562
イ)'95 会費	2,750,000
ロ)'95 会誌別刷り	3,435,000
ハ)'95 会誌印税	167,760
ニ)'95 会誌広告料	648,900
ホ)'95 研究会登録料	486,000
ヘ)'95 研究会別刷り料その他	106,000
ト)'95 セミナー参加料その他	150,000
フ) その他	644,902
(3) 担保金	777,000
イ) 郵便物受取人払い担保金	777,000
(4) 貸出金	3,000,000
イ) 全国大会運営費	2,000,000
ロ) I J C A I ' 9 7 運営費	1,000,000
2. 固定資産	4,564,584
(1) 入居保証金	4,344,000
(2) 電話架設料	220,584
資 産 合 計	96,766,131

科 目	金 額
(負債の部)	
1. 流動負債	18,004,470
(1) 前納金	12,106,300
イ) 96年度入会金	57,000
ロ) 96年度会費	9,511,000
ハ) 研究会登録料	222,000
ニ) セミナー参加費	414,000
ホ) 名簿予約代	82,500
ヘ) CD-ROM	1,819,800
(2) 未払金	5,898,170
イ) 会誌発行費	5,444,918
ロ) 会誌別刷り印刷費	453,252
2. 固定負債	26,417,158
イ) 国際会議積立金	20,033,090
ロ) A L T 積立金	1,582,529
ハ) J K A W 積立金	724,723
ニ) 退職金引当金	0
ホ) 会費未納分除却引当金	2,367,377
ヘ) 事務所整備積立金	201,919
ト) 10周年記念事業引当金	1,007,520
フ) 名簿発行準備金	500,000
負 債 合 計	44,421,628
正 味 財 産	52,344,503
合 計	96,766,131

[1] 1995年度決算収支の部

(自1995年4月1日、至1996年3月31日)

1) 収入の部

科目	予算額	実算額	差引額
基本財産運用	770,000	752,500	▲ 17,500
入会金収入	419,000	396,000	▲ 23,000
正会員入会金	308,000	280,000	▲ 28,000
学生会員入会金	111,000	116,000	5,000
会費収入	51,324,000	50,451,000	▲873,000
正会員会費	32,070,000	31,890,000	▲180,000
学生会員会費	1,704,000	1,496,000	▲208,000
賛助会員会費	15,600,000	15,520,000	▲ 80,000
特殊講読会員会費	1,950,000	1,545,000	▲405,000
事業収入	36,634,060	40,562,126	3,928,066
会誌別刷料	14,958,000	17,301,750	2,343,750
会誌印税	1,006,560	1,006,560	0
全国大会参加費他	8,400,000	9,680,822	1,280,822
セミナー参加費	4,806,000	4,560,000	▲246,000
会誌等の頒布代	750,000	1,251,700	501,700
研究会登録料、他	6,013,500	5,380,000	▲633,500
ALT-96	0	107,260	107,260
その他	700,000	1,274,034	574,034
雑収入	2,409,000	2,089,687	▲319,313
会誌広告料	1,710,000	1,225,700	▲484,300
郵送料他	145,000	35,500	▲109,500
受取利息	554,000	819,278	265,278
その他	0	9,209	9,209
引当金取崩収入	2,100,000	4,430,000	2,330,000
事務所整備費引当金	2,100,000	2,100,000	0
退職金引当金	0	2,330,000	2,330,000
当期収入合計	93,656,060	98,681,313	5,025,253
当期繰越収支差額	18,025,560	18,025,560	0
収入合計	111,681,620	116,706,873	5,025,253

2) 支出の部

科目	予算額	実算額	差引額
事業費	55,342,286	53,843,886	▲1,498,400
会誌発行費	34,795,200	34,493,056	▲302,144
会誌別刷印刷費	2,743,200	2,647,860	▲95,340
会誌執筆謝礼	456,000	481,305	25,305
会誌発行諸経費	1,100,000	1,114,872	14,872
全国大会開催費	7,400,000	7,506,044	106,044
セミナー開催費	2,248,876	2,403,449	154,573
研究会他開催費	5,439,010	4,580,106	▲858,904
広報活動費	300,000	0	▲300,000
表彰費	200,000	154,933	▲45,067
会議費	660,000	462,261	▲197,739
管理費	37,893,060	36,392,604	▲1,500,456
事務所費(家賃、共益費、光熱費)	3,527,000	3,555,226	28,226
リース料他	3,140,000	2,963,468	▲176,532
機械修理費	100,000	31,445	▲68,555
什器備品費	200,000	225,549	25,549
会議費	950,000	798,526	▲151,474
旅費交通費	220,000	245,000	25,000
通信費	3,000,000	2,842,148	▲157,852
印刷費	1,000,000	1,160,874	160,874
消耗品費	1,800,000	1,111,842	▲688,158
倉庫管理費	340,000	418,343	78,343
給料手当等	14,726,060	14,357,184	▲368,876
臨時雇用費	2,500,000	2,596,164	96,164
支払い手数料	60,000	73,200	13,200
雑費	400,000	265,515	▲134,485
資料購入費	25,000	16,260	▲8,740
研修費	20,000	5,000	▲15,000
諸会費	90,000	88,600	▲1,400
OA強化費	4,090,000	4,033,911	▲56,089
会費引落経費	100,000	86,932	▲13,068
保険料	5,000	10,550	5,550
福利厚生費	1,600,000	1,506,867	▲93,133
その他支出	464,000	6,563,668	6,099,668
退職金	0	2,110,467	2,110,467
阪神大震災被災者会費免除	264,000	264,000	0
IJCAI-95若手参加者旅費補助	200,000	0	▲200,000
1994年度以前の会費等未納分除却損	0	4,189,201	4,189,201
積立金繰入れ支出	2,030,000	2,162,212	132,212
国際会議積立金	0	33,090	33,090
10周年記念事業積立金	1,000,000	1,007,520	7,520
事務所整備積立金	200,000	201,919	1,919
退職金引当金	330,000	330,000	0
会費未納除却分引当金	0	10,377	10,377
名簿発行準備金	500,000	500,000	0
ALT積立金	0	76,583	76,583 -71,675
JKAW積立金	0	2,723	2,723
予備費	400,000	400,000	0
当期支出合計	96,129,346	99,362,370	3,233,024
次期繰越収支差額	15,552,274	17,344,503	1,792,229
支出合計	111,681,620	116,706,873	5,025,253

注：当期収支差額は ▲681,057 円である。

〔2〕正味財産増減計算の部

(自1995年4月1日～至1996年3月31日)

1) 増加の部

科 目	実 算 額
当期収支差額 当期増減差額	
増加額合計	

2) 減少の部

科 目	実 算 額
当期収支差額 当期増減差額	681,057
減少額合計	681,057

3) 合計の部

科 目	実 算 額
当期正味財産減少額	- 681,057
前期繰越正味財産額	53,025,560
期末正味財産合計額	52,344,503

監査報告書

1996年6月6日

(社)人工知能学会
会長 堂下 修司 殿

監事 田中 千代治



監事 棚橋 純一



1995年度決算報告書について厳正に監査しました結果、適正に処理され妥当であることをご報告いたします。

以上

この写しは、原本と相違ないことを証明します。

平成8年6月26日

社団法人人工知能学会



会長 堂下 修司



1996年度事業計画

1. 運営・活動方針

定款の目的に沿って、会誌の隔月発行、全国大会（第10回）、国際会議、研究会、セミナー、講演会の開催、ワークショップなどの研究活動の推進、学会論文賞、研究奨励賞および全国大会優秀論文の表彰ならびに他学協会および海外関連団体との協調により学会活動の活性化、多様化を推進するとともに、引き続き組織基盤の強化・拡充に努めて会員サービスの充実を図る。

研究会活動は、第2種研究会に並列人工知能研究会に加えて情報統合研究会を発足させて、7研究会で一層の充実をはかり、12月には設立10周年記念合同研究会AIシンポジウム'96を開催する。

人工知能セミナーは、好評を受けているものの、開催効率を向上させることから回数を2回に抑えて質的な充実に重点を置き開催する。

国際活動の一環として、来年度日本開催のIJCAI-97のための準備を着々とすすめる。今年度1996年度開催のPRICAI-96への委員の選任および諸準備作業、エルゼビア社刊JAI (Journal of Artificial Intelligence) 誌特集号掲載の会誌論文選考も引き続き進める。また、海外における人工知能関連シンポジウム、ワークショップ開催の協賛などの協調・連携活動も活発に行う。

なお、今年度は当学会の設立10周年を記念して、諸記念事業を推進・実行する。

2. 会誌の発行

- ◇第11巻3号（通巻57号）1996年5月1日発行
10周年記念特集号、「随想、座談会、学会10年の歩み」、記念論文2編、論文6編、他
付録としてCD-ROM
- ◇第11巻4号（通巻58号）1996年7月1日発行
特集「自然言語処理の再構築」、解説、AIマップ、論文11編、他
- ◇第11巻5号（通巻59号）1996年9月1日発行
小特集「インターネット環境におけるAI技術」、解説、IJCAI-97記事、論文8編、ショートノート、他
- ◇第11巻6号（通巻60号）1996年11月1日発行
特集なし、解説、IJCAI-97記事、AIマップ、論文8編、他
- ◇第12巻1号（通巻61号）1997年1月1日発行
特集「AIチャレンジ計画2010」、小特集「音声対話」、解説、IJCAI-97記事、論文8編、他
- ◇第12巻2号（通巻62号）1997年3月1日発行
特集「AIの手法と周辺の基礎理論」、解説、IJCAI-97記事、論文8編、他

3. 全国大会（第10回）の開催

- ◇期 日 1996年6月24日（月）～27日（木）
- ◇場 所 早稲田大学国際会議場（東京・西早稲田）
- ◇構 成
 - ・人工知能学会設立10周年記念式典
 - ・特別講演「人工知能の過去・現在・未来」
立花隆氏（評論家、東京大学先端科学技術研究センター客員教授）
 - ・招待講演“Symbols, Patterns and Behavior : beyond the information-processing metaphor”
Prof. R. Pfeifer (チューリッヒ大学)
 - ・パネルディスカッション「マルチエージェントへの新しい接近」
 - ・研究会企画などによる特別セッション
 - 「並列人工知能」
 - 「音声対話」
 - 「拡張的推論—アブダクションとインダクション」
 - 「インターネットからの発想」

「事例ベース (CBR) の実用化にむけて」

「情報統合」

- ・一般応募講演 発表論文168件
- ・チュートリアル講演
 - トラックⅠ 「AIと応用」
 - トラックⅡ 「マルチエージェントと人工社会」
 - トラックⅢ 「ロボット (RoboCup)」

4. シンポジウム／ワークショップの開催

◇第14回設計シンポジウム

期 日 1996年7月10日(水)・11日(木)
場 所 東京工業大学百年記念館 フェライト会議室(東京・大岡山)
共 催 人工知能学会(幹事学会)、精密工学会、日本機械学会、日本設計工学会
構 成 記念講演1件、論文発表25件
参加者 名

◇マシンインテリジェンスに関する国際ワークショップ1997

期 日 1997年4月1日(火)～3日(木)
場 所 日本
共 催 Turing Institute
後 援 Daiwa Foundation
構 成 論文発表
参加者 名

◇第7回計算論的学習理論国際ワークショップ'ALT' 96

期 日 1996年10月23日(水)～25日(金)
場 所 Coogee Holiday Inn, Sydney, Australia
主 催 人工知能学会、ニューサウスウェルズ大学、オーストラリア情報処理学会(予定)
構 成 招待講演4件、論文発表25件
参加者 80名(国内20名、国外60名)

◇1996年度パシフィックリム知識獲得ワークショップPKAW' 96

期 日 1996年10月23日(水)～25日(金)
場 所 Coogee Holiday Inn, Sydney, Australia
主 催 ニューサウスウェルズ大学、人工知能学会、日立製作所基礎研究所
構 成 招待講演1件、論文発表25件
参加者 30名(国内5名、国外25名)

5. 研究会の開催

◇人工知能基礎論研究会

- ・第25回
 - 日 時 1996年7月31日(水)～8月2日(金)
 - 場 所 北海道大学百年記念館(札幌)
 - 内 容 招待講演5件・小特集20件／参加者 名
- ・第26回
 - 日 時 1996年9月27日(金)～28(土)
 - 場 所 北陸先端科学技術大学院大学(石川県・辰口町)
 - 内 容 研究発表・小特集・招待講演／参加者 名
- ・第27回 第7回合同研究会
 - 日 時 1996年12月6日(金)
 - 場 所 機械振興会館(東京・芝公園)
 - 内 容 研究発表 件／参加者 名
- ・第28回
 - 日 時 1997年3月27日(木)～28(金)
 - 場 所 名古屋工業大学(名古屋・御器所町)
 - 内 容 研究発表・小特集・招待講演／参加者 名

◇ヒューマンインターフェースデザイン研究会

- ・第28回 (情報処理学会と共催)
日 時 1996年7月5日(金)
場 所 富士通研究所(川崎市・中原区)
内 容 研究発表7件/参加者 名
- ・第29回
日 時 1996年9月13日(金)
場 所 京都工芸繊維大学(京都市・吉田本町)
内 容 研究発表 件/参加者 名
- ・第30回 第7回合同研究会
日 時 1996年12月6日(金)
場 所 機械振興会館(東京・芝公園)
内 容 研究発表 件/参加者 名
- ・第31回
日 時 1997年3月 日()
場 所 静岡大学情報学部・図書館視聴覚室(静岡県・浜松市)
内 容 研究発表 件/参加者 名

◇知識ベースシステム研究会

- ・第34回
日 時 1996年5月21日(火) 10時10分~16時40分
場 所 東京電機大学理工学部 鳩山キャンパス(埼玉県比企郡)
内 容 研究発表7件/参加者10名
- ・第35回
日 時 1996年10月 日() 合宿
場 所
内 容 特集:研究発表 件・招待講演 件/参加者 名
- ・第36回 第7回合同研究会
日 時 1996年12月6日(金)
場 所 機械振興会館(東京・芝公園)
内 容 研究発表 件/参加者 名
- ・第37回
日 時 1997年1月 日()
場 所 関西地区
内 容 研究発表 件/参加者 名

◇言語・音声理解と対話処理研究会

- ・第14回
日 時 1996年6月3日(月) 10時~16時50分
場 所 千葉大学工学部1号館3階視聴覚教室
内 容 研究発表8件/参加者23名
- ・第15回 (情報処理学会と共催)
日 時 1996年10月25日(金)
場 所 情報処理学会会議室(東京・芝浦)
内 容 研究発表 件/参加者 名
- ・第16回 第7回合同研究会
日 時 1996年12月6日(金)
場 所 機械振興会館(東京・芝公園)
内 容 研究発表 件/参加者 名
- ・第17回
日 時 1997年1月 日()
場 所 関西地区
内 容 研究発表 件/参加者 名、招待講演、チュートリアル 件/参加者 名

◇知的教育システム研究会

- ・第14回
日 時 1996年5月31日(金) 11時~17時
場 所 電通生協会館(東京・豊島)
内 容 研究発表7件/参加者24名

- ・第15回
日 時 1996年10月 日()
場 所 水島 三菱化学(水島)
内 容 研究発表 件・見学会/参加者 名
- ・第16回
日 時 1996年12月6日(金)
場 所 機械振興会館(東京・芝公園)
内 容 研究発表 件/参加者 名
- ・第17回
日 時 1997年3月 日()
場 所 未定 合宿
内 容 研究発表 件・招待講演 件/参加者 名

◇第7合同研究会 “AIシンポジウム'96”
日 時 1996年12月4日(水) 9時30分～17時
5日(木) 9時30分～16時35分
6日(金) 9時30分～16時35分
場 所 機械振興会館・研修-1号室他(東京・芝公園)
内 容 研究発表 件/参加者 名
招待講演 件、全体討論、パネル討論/参加者 名

◇並列人工知能研究会

- ・第10回 “International Conference on Evolvable Systems 96”
日 時 1996年10月7日(月)～8日(火)
場 所 つくば
内 容 研究発表 件/参加者 名
- ・第11回 (IROS96) “RoboCup-WS96”
日 時 1996年11月4日(月)
場 所 大阪
内 容 研究発表 件/参加者 名
- ・第12回 「インターネット情報システム」
日 時 1996年11月 日()
場 所
内 容 研究発表 件/参加者 名
- ・第13回 「エンターテイメント」
日 時 1997年3月 日()
場 所 東京近辺
内 容 研究発表 件/参加者 名

◇情報統合研究会

- ・第1回 「移動ロボットにおける統合」
日 時 1996年7月29日(月)
場 所 新情報東京本部(東京・秋葉原)
内 容 研究発表 件/参加者 名
- ・第2回 「リアルタイム統合」
日 時 1996年11月 日()
場 所
内 容 研究発表 件/参加者 名
- ・第3回 「記号とパターン統合」
日 時 1997年3月 日()
場 所
内 容 研究発表 件/参加者 名

6. セミナーなどの開催

◇第32回人工知能セミナー

- ・テーマ: 事例ベースが開く新しいAIの世界
- ・期 日: 1996年4月9日(火) 9時30分～17時
- ・場 所: 機械振興会館 地下3F 研修-1号室 (東京・芝公園)

- ・協賛：(社)情報処理学会、(社)電子情報通信学会、(社)電気学会、(社)計測自動制御学会、(社)精密工学会、(社)日本ロボット学会、日本ソフトウェア科学会、(社)日本機械学会、(社)テレビジョン学会、(社)自動車技術会、(社)日本経営工学会、日本ファジィ学会、(社)日本OR学会、日本認知科学会、システム制御情報学会、日本シミュレーション学会、(社)日本設計工学会、日本経営情報学会、

◇プログラム：

- < 司 会 > 「事例ベースが開く新しいAIの世界」の開催にあたって
(株)富士通研究所 マルチメディアシステム研究所 主任研究員 丸山 文宏氏
- < 9:30 - 10:50 > 事例ベース推論の現状と展望
東京工業大学大学院 総合理工学研究科 教授 小林 重信氏
- <10:50 - 11:00> 休憩
- <11:00 - 12:00> 事例ベース推論システムの応用例と事例ベース推論システム構築方法論
(株)東芝 研究開発センター システム・ソフトウェア生産技術研究所
開発第1部 開発主務 田中 利一氏
- <12:00 - 13:00> 昼食休憩
- <13:00 - 13:50> 柔らかい検索：自然言語文に対する類似事例検索システム
(株)富士通研究所 マルチメディアシステム研究所
ネットメディア研究センター 研究員 岡本 青史氏
- <13:50 - 14:40> 修理事例再利用による家電品アフターサービスの効率化
三菱電機(株) 生産技術センター システム開発プロジェクトグループ
品質システム化グループ グループマネジャー 堀 聡氏
- <14:40 - 14:50> 休憩
- <14:50 - 15:40> スケジューリング問題における事例に基づく知識獲得
電子技術総合研究所 知能システム部 通信知能研究室
主任研究官 宮下 和雄氏
- <15:40 - 16:30> 法的推論-ルールベース推論、事例ベース推論、仮説推論の融合-
電子技術総合研究所 知能情報部 推論研究室 室長 新田 克己氏
- <16:30 - 17:00> まとめ
慶応義塾大学 環境情報学部 教授 石崎 俊氏

- ・参加申し込み：67名

◇第33回人工知能セミナー

- ・テーマ：「21世紀の知的情報ネットワーク社会への飛躍」
第1部 知的情報ネットワーク社会の展望とAIへの要請
第2部 AI技術の展望と知的情報ネットワーク社会へのインパクト
第3部 今後期待されるAI技術とその実現可能性を考える(パネル討論)
- ・日 時：1996年10月1日(火) 10時~17時
1996年10月2日(水) 10時~17時
- ・場 所：株式会社ジャストシステム 東京支社・レクチャールーム(青山ビルディング7F)
〒107 東京都港区北青山1-2-3 青山ビルディング
Tel. 03-5412-3900(代)
- ・協賛予定：(社)情報処理学会、(社)電子情報通信学会、(社)電気学会、(社)計測自動制御学会、(社)精密工学会、(社)日本ロボット学会、日本ソフトウェア学会、(社)日本機械学会、(社)自動車技術会、(社)日本OR学会、システム情報制御学会、日本ファジィ学会、日本シミュレーション学会、(社)日本設計工学会、(社)テレビジョン学会、日本経営情報学会

・プログラム

- <総合司会> 西田 豊明氏(奈良先端科学技術大学院大学 教授)
《第1部 知的情報ネットワーク社会の展望とAIへの要請》
10月1日(火)
- <10:00 - 11:10> 「情報ネットワーク上での複合コンテンツサービスの開発・提供」
今井 仁氏(ぴあ(株)情報事業本部EC推進室 室長)
- <11:10 - 12:20> 「エージェントによる知的情報ネットワーク社会の構築」
所 真理雄氏(慶応義塾大学 理工学部 教授)
- <12:20 - 13:20> 休憩

- <13:20 - 14:30> 「ネットワークの中のコミュニケーション
——パソコン通信と今後の情報ネットワーク社会」
岡田 智雄 氏 (ニフティ(株) 社長)
- <14:30 - 14:40> 休憩
- <14:40 - 15:50> 「サイバームービーにおけるインタラクティブアクターの生成」
土佐 尚子 氏
(株)エイ・ティ・アール 知能映像通信研究所第1研究室 客員研究員
- <15:50 - 17:00> 「オープンコンピュータネットワーク(OCN)サービス」
香取 一昭 氏(日本電信電話(株)理事マルチメディアサービス部担当部長)

《第2部 AI技術の展望と知的情報ネットワーク社会へのインパクト》

- 10月2日(水)
- <10:00 - 11:10> 「ネットワーク社会に向けた知識処理技術の展望」
渡辺 正信 氏(NEC C&C研究所ソフトウェア研究部 部長)
- <11:10 - 12:20> 「ネットワーク自然言語処理技術の展開(翻訳技術の展開)」
平川 秀樹 氏
(株)東芝 研究開発センター 情報・通信システム研究所 主任研究員
- <12:20 - 13:20> 休憩
- <13:20 - 14:30> 「音声認識技術
—音声認識技術がネットワーク社会の実現にどのように貢献できるか」
阿部 芳春 氏
(三菱電機(株)情報技術総合研究所音声・言語インタフェース技術部 チームリーダー)
- <14:30 - 14:45> 休憩

《第3部 今後期待されるAI技術とその実現可能性を考える》

- 10月2日(水)
- <14:45 - 17:00> パネル討論
テーマ：今後期待されるAI技術とその実現可能性を考える(予定)
司会：北野 宏明 氏
(ソニー(株)コンピュータサイエンス研究所リサーチ)

7. 表彰

功績賞、功労賞、学会論文賞、研究奨励賞、全国大会優秀論文賞、設立10周年記念小中学生作品コンテストの入選者の表彰

8. 共催、協賛、後援など

昨年度に引き続き、他学協会との協調により学会活動の活性化、多様化を推進する。

9. 会議

- ◇1996年度第11回通常総会
6月26日(水)に早稲田大学国際会議場(東京・西早稲田)で開催。
- ◇理事会
8月および1月を除く各月に計10回開催。
- ◇1996年度評議員会
定例会議を6月25日(火)に開催。
- ◇委員会
会誌編集委員会、研究会運営委員会、研究会審議委員会、企画委員会、全国大会委員会、同プログラム委員会、広報委員会、財務委員会(予算小委員会が増新設された。)、渉外委員会、総務委員会、功績賞・功労賞選定委員会、出版委員会、JAI選考委員会、IJCAI-97本委員会、同実行委員会をそれぞれ随時開催。

10. 規程など制定・改正・廃止、契約締結、覚書交換および認可など

◇社団法人人工知能学会・新役員登記(1996/07)

◇学術研究団体登録申請(1996/05/31)

◇学術研究団体登録申請補正手続き(1996/07)

11. 学会設立10周年記念事業

本年度は学会設立10周年を向かえ、これを記念する事業を以下のように実施。

◇設立10周年記念式典

- ・日時: 6月26日(水) 午後3時~午後5時30分
- ・場所: 早稲田大学国際会議場
- ・式典: 開会の辞
会長挨拶
来賓挨拶
功績賞表彰
功劳賞表彰
業績賞表彰
十周年記念論文賞表彰
十周年記念特別講演
評論家
東大先端科学技術研究センター客員教授
立花 隆氏
演題「人工知能の過去・現在・未来」
閉会の辞

◇功績賞・功劳賞・業績賞の新設

- ・上記記念式典において表彰。

◇設立10周年記念大会

- ・1996年度(第10回)全国大会を設立10周年記念大会として行う。

◇設立10周年記念論文賞

- ・第10巻第3号にて会告し応募された論文26編から2編が選ばれた。上記の記念式典にて表彰。

◇設立10周年記念人工知能セミナー

- ・1996年10月1日(火)~2日(水)に設立10周年記念人工知能セミナーとして行う。

◇設立10周年記念小中学生作品コンテスト

- ・テーマ 科学技術の未来について(作文、絵画、音楽、ビデオ、ホームページなど)
- ・対象 小学生および中学生
- ・締切 1996年9月20日(金)
- ・表彰式 設立10周年記念合同研究会AIシンポジウム'96の会場で行う。

◇設立10周年記念合同研究会AIシンポジウム'96

- ・1996年12月4日(水)~6日(金)機械振興会館にて行う。

◇会誌10周年記念特集号

- ・1996年5月1日発行の第11巻第3号(通巻51号)を記念特集号として発行した。

◇会誌バックナンバーのCD-ROM化

- ・上記の記念特集号の付録として配布した。

◇学会の将来ビジョンの策定

- ・田中英彦委員長以下16名の委員会構成で1年を掛けてワークした結果を将来計画委員会答申書としてまとめられた。

◇会員名簿の発行

- ・1996年9月に発行の予定日程にて会員からの登録データの送付を依頼している。

12. 1996年度役員構成(案)

別紙参照

13. 1996年度評議員構成(案)

別紙参照

以上

1996年度予算書

(自1996年4月1日～至1997年3月31日)

1) 収入の部

科 目		予 算 額	前年度予算額	対前年度差異	備 考
基本財産運用		140,000	770,000	▲630,000	金利の低下
入 会 金	正会員入会金	340,000	308,000	32,000	170名
	学生会員入会金	130,000	111,000	19,000	130名
	小 計	470,000	419,000	51,000	10周年記念効果
会 費 収 入	正会員会費	28,670,000	32,070,000	▲3,400,000	3,150名
	学生会員会費	1,792,000	1,704,000	88,000	498名
	賛助会員会費	14,720,000	15,600,000	▲880,000	83社 184口
	特殊購読会員会費	1,530,000	1,950,000	▲420,000	102団体
	小 計	46,712,000	51,324,000	▲4,612,000	
事 業 収 入	会誌別刷料	14,958,000	14,958,000	0	
	会誌印税	754,920	1,006,560	▲251,640	600 → 450
	全国大会参加費他	8,440,000	8,400,000	40,000	
	セミナー参加費	4,206,000	4,806,000	▲600,000	開催数を 2回
	会誌など頒布代	400,000	750,000	▲350,000	CD-ROM化
	研究会登録料、他	6,323,000	6,013,500	309,500	別刷→研資購入
	その他	1,316,080	700,000	616,080	
	小 計	36,398,000	36,634,060	▲236,060	
準 備 金 取 崩 し	事務所整備費積立金	0	2,100,000	▲2,100,000	
	10周年記念事業積立金	1,000,000	0	1,000,000	
	名簿発行準備積立金	500,000	0	500,000	
	小 計	1,500,000	2,100,000	▲ 600,000	
雑 収 入	会誌広告料	1,710,000	1,710,000	0	
	CD-ROMデータ譲渡	1,819,800	0	1,819,800	
	郵送料他	117,500	145,000	▲ 27,500	
	受取利息	72,000	554,000	▲482,000	金利の低下
	小 計	3,719,300	2,409,000	1,310,300	
当期収入合計		88,939,300	93,656,060	▲4,716,760	
前期繰越収支差額		17,344,503	18,025,560	▲ 681,057	
収入合計		106,283,803	111,681,620	▲5,397,817	

2) 支出の部

科 目		予 算 額	前年度予算額	対前年度差異	備 考
事業費	会誌発行費	34,472,100	34,795,200	▲ 323,100	
	会誌別刷印刷費	2,944,800	2,743,200	201,600	10周年記念行事
	CD-ROM	1,421,000	0	1,421,000	10周年記念行事
	会誌執筆謝礼	577,100	456,000	121,100	
	会誌発行諸経費	1,100,000	1,100,000	0	封筒の軽量化
	全国大会開催費	7,440,000	7,400,000	40,000	
	セミナー開催費	2,004,200	2,248,876	▲244,676	開催数の減
	研究会、他開催費	4,872,910	5,439,010	▲566,100	別刷の中止
	広報活動費	300,000	300,000	0	
	表彰費	1,097,000	200,000	897,000	10周年記念行事
会議費	533,890	660,000	▲126,110	会議頻度の削減	
小 計	56,763,000	55,342,286	1,420,714		
管理費	家賃	2,638,000	2,715,000	▲ 77,000	契約更改年
	共益費	482,000	482,000	0	
	光熱費	350,000	330,000	20,000	
	リース料他	3,450,000	3,140,000	310,000	LAN/InterNet
	機械修理費	200,000	100,000	100,000	
	什器備品費	200,000	200,000	0	
	会議費	510,000	950,000	▲440,000	会議頻度の削減
	旅費交通費	594,000	220,000	374,000	含通勤定期代
	通信費	2,600,000	3,000,000	▲400,000	OA強化効果
	印刷費	800,000	1,000,000	▲200,000	同上
	消耗品費	1,000,000	1,800,000	▲800,000	削減努力
	倉庫管理費	150,000	340,000	▲190,000	倉庫解約
	給料手当等	5,904,932	14,726,060	▲8,821,128	職員減
	臨時雇用費	12,200,514	2,500,000	9,700,514	人材派遣
	支払い手数料	80,000	60,000	20,000	現金持ち運び減
	雑費	300,000	400,000	▲100,000	削減努力
	資料購入費	25,000	25,000	0	
	研修費	150,000	20,000	130,000	
	諸会費	110,000	90,000	20,000	
	OA強化費	2,040,000	4,090,000	▲2,050,000	システム化ローダン
	会費引落手数料	100,000	100,000	0	
	保険料	0	5,000	▲5,000	3年毎の支払い
	福利厚生費	662,800	1,600,000	▲937,200	職員減
公認会計士費用	500,000	0	500,000	文部省行政指導	
小 計	35,047,246	37,893,060	▲2,845,814		
阪神大震災被災者へ会費免除		0	264,000	▲264,000	
IJCAI-95若手参加者へ旅費補助		0	200,000	▲200,000	
積立金繰入	10周年記念事業積立金	0	1,000,000	▲1,000,000	
	国際会議積立金	0	0	0	
	事務所整備積立金	200,000	200,000	0	
	退職金引当金	531,000	330,000	201,000	
	会費未納除却分引当金	0	0	0	
	名簿発行準備金	300,000	500,000	▲200,000	
小 計	1,031,000	2,030,000	▲999,000		
予備費		400,000	400,000	0	
当期支出合計		93,241,246	96,129,346	▲2,888,100	
次期繰越収支差額		13,042,557	15,552,274	▲2,509,717	
支 出 合 計		106,283,803	111,681,620	▲5,397,817	

注：当期収支差額は - 4,301,946である。

1996年度役員構成 (案)

氏名	役職	種別	所属	
田中 英彦	会長	再任	東京大学大学院 工学系研究科電気工学専攻	
森 健一	副会長	留任	(株) 東芝 映像メディア事業本部	
白井 克彦	副会長	再任	早稲田大学 理工学部情報学科	
市川 薫	理事	新任	千葉大学 工学部情報工学科知識情報学講座	9107408
伊藤 英則	理事	新任	名古屋工業大学 工学部知能情報システム学科	
井上 恵太	理事	留任	トヨタ自動車 (株)	
大田 友一	理事	留任	筑波大学 電子情報工学系	8600669
大宅 伊久雄	理事	新任	沖電気工業 (株) 研究開発本部マルチメディア研究所	
岡 隆一	理事	留任	新情報処理開発機構 理論・新機能研究部	9511013
川田 圭一	理事	新任	三菱電機 (株) 情報技術総合研究所	
坂間 保雄	理事	留任	日本電信電話 (株) NTT情報通信研究所 知的情報処理研究部	
佐藤 泰介	理事	新任	東京工業大学大学院 情報理工学研究科計算機工学専攻	8702774
佐藤 雅彦	理事	留任	京都大学大学院 工学研究科情報工学専攻	
白井 良明	理事	新任	大阪大学 工学部電子制御機械工学科	
鈴木 隆一	理事	留任	(株) 日立製作所 中央研究所	
田中 秀雄	理事	留任	東京電力 (株) システム研究所 AI 研究室	8905157
田村 秀行	理事	新任	キャノン (株) 情報メディア研究所	
中津 良平	理事	新任	(株) ATR 知能映像通信研究所	
溝口 理一郎	理事	留任	大阪大学 産業科学研究所知識システム研究分野	8600474
山本 昌弘	理事	留任	日本電気 (株) C&C研究所	
棚橋 純一	監事	留任	(株) 富士通研究所 パーソナルシステム研究所	
山崎 正人	監事	新任	松下電器産業 (株) マルチメディアシステム研究所 企画推進グループ	

(五十音順)

8601019

以上

1995年度退任役員

氏名	役職	所属
堂下 修司	会長	京都大学大学院 工学研究科情報工学専攻
上林 憲行	理事	富士ゼロックス (株) システム実験研究所
河田 勉	理事	(株) 東芝 情報サービス・機器事業開発室
樽松 明	理事	電気通信大学 電気通信学部電子工学科
諏訪 基	理事	電子技術総合研究所 情報科学部
土居 範久	理事	慶應義塾大学 理工学部電気工学科
中野 宣邦	理事	(株) エクシング 企画部事業企画グループ
羽下 雄之輔	理事	沖電気工業 (株) 研究開発本部
田中 千代治	監事	大阪工業大学 情報科学部情報システム学科

(五十音順)

以上

1996年度評議員構成（案）

氏名	種別	所属
浅川 和雄	再任	(株) 富士通研究所 ネットメディア研究センター
阿部 圭一	再任	静岡大学 情報学部情報科学科
雨宮 真人	留任	九州大学大学院 システム情報科学研究科知能システム学
飯田 敏幸	新任	日本電信電話(株) コミュニケーション科学研究所大規模知識ベース研究G
飯田 仁	新任	(株) ATR 音声翻訳通信研究所 言語処理研究室
池田 克夫	留任	京都大学大学院 工学研究科・情報工学専攻
池田 将明	留任	(株) フジタ技術研究所 生産技術研究部
石井 義則	留任	日本デジタルイクイップメント(株) 研究開発センター国際システム開発部
石川 勉	新任	拓殖大学 工学部情報工学科
石田 亨	再任	京都大学 工学部情報工学教室
石塚 満	留任	東京大学 工学部電子情報工学科
石原 孝一郎	留任	拓殖大学 工学部情報工学科
磯辺 寛	留任	(株) 日立製作所 ソフトウェア開発本部
稲垣 康善	再任	名古屋大学 工学部情報工学科
今井 幸雄	新任	(株) 野村総合研究所 情報技術本部
上田 和紀	新任	早稲田大学 理工学部情報学科
植村 昌俊	留任	沖電気工業(株) 研究開発本部研究促進センター商品化企画部
宇佐見 仁英	留任	富士通(株) 計算科学研究センター第二研究部
大貝 晴俊	新任	新日本製鐵(株) 技術開発本部プロセス技術研究所計測制御研究
大槻 説乎	留任	広島市立大学 情報科学部
岡 夏樹	新任	松下技研(株) 情報・ネットワーク研究所
岡田 直之	再任	九州工業大学 情報工学部知能情報工学科
岡本 明	新任	(株) リコー 情報通信研究所
片井 修	留任	京都大学大学院 工学研究科精密工学教室
川北 茂	留任	(株) 東芝 [発計ブ] (発応シ)
菊田 泰代	留任	富士通(株) ソフトウェア開発部
北野 宏明	新任	(株) ソニーコンピュータサイエンス研究所
北橋 忠宏	再任	大阪大学 産業科学研究所知能システム科学部門
空閑 茂起	再任	シャープ(株) 情報技術研究所
國藤 進	再任	北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
輿水 大和	新任	中京大学 情報科学部情報科学科
後藤 滋樹	留任	早稲田大学 理工学部情報学科
斉藤 宗昭	新任	セコム(株) IS研究所医用情報処理研究室
坂部 俊樹	留任	名古屋大学 工学部情報工学科
塩手 千城	留任	日本たばこ産業(株) 広島工場
白鳥 則郎	再任	東北大学 電気通信研究所
末田 直道	留任	(株) 東芝 システムソフトウェア生産技術研究所開発第1部
諏訪 基	新任	電子技術総合研究所 情報科学部
関根 史麿	再任	花王(株) 知識情報科学研究所
高橋 理一	再任	(株) 豊田中央研究所
滝 寛和	留任	三菱電機(株) 設計システム技術センター設機技部第1G

竹内 章	新任	九州工業大学 情報工学部知能情報工学科
田中 諒	留任	北海道大学 工学部電子情報工学専攻
田村 浩一郎	再任	電子技術総合研究所
塚本 昌彦	新任	大阪大学 工学部情報システム工学科
辻 秀一	新任	三菱電機(株) 情報技術総合研究所戦略G
戸沢 義夫	再任	日本アイ・ピー・エム(株) ITコンサルティング事業部
豊田 順一	留任	大阪大学 産業科学研究所
中島 秀之	留任	電子技術総合研究所 通信知能研究室
中田 純一	新任	日本ユニシス(株) システム技術部ソリューション技術開発室
中村 亨	留任	(株)東芝 東京システムセンター システム開発部
西田 豊明	新任	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
沼尾 正行	新任	東京工業大学大学院 情報理工学研究科計算機工学専攻
野々垣 且	新任	富士通アプリコ(株) マルチメディア事業部
羽下 雄之輔	新任	沖電気工業(株) 研究開発本部
橋本 和夫	再任	国際電信電話(株) KDD研究所知識情報処理グループ
八賀 明	留任	(財)鉄道総合技術研究所 輸送システム開発推進部
早馬 修	留任	東亜大学大学院
原 潔	留任	日本ユニシス(株) アドバンスドソフトウェア開発室
原口 誠	再任	北海道大学 工学部電子情報工学専攻
平田 圭二	新任	日本電信電話(株) 基礎研究所
渕 一博	留任	慶應義塾大学 理工学部管理工学科
古川 康一	留任	慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科
堀 浩一	再任	東京大学 工学部航空工学科
坂内 広蔵	再任	(財)電力中央研究所 情報研究所情報科学部
増位 庄一	再任	(株)日立製作所 ソフトウェア開発本部 市場開発センター
松田 元男	留任	鹿島建設(株) 情報システム部
松山 隆司	再任	京都大学大学院 工学研究科電子通信工学専攻
溝口 文雄	再任	東京理科大学 理工学部経営工学科
宮原 是中	留任	大多喜ガス(株)
村木 一至	留任	日本電気(株) 情報メディア研究所音声言語研究部
谷内田 正彦	留任	大阪大学 基礎工学部システム工学科
山崎 英蔵	留任	(株)三菱総合研究所
横田 将生	留任	福岡工業大学 工学部・言語情報工学研究所
淀川 英司	再任	工学院大学 電子工学科
米山 正秀	留任	東洋大学 工学部 情報工学科
和佐野 哲男	留任	(株)国際電気通信基礎技術研究所 経営企画部
渡辺 正信	再任	日本電気(株) C&C研究所ソフトウェア研究部

(五十音順)

(内訳)

大学関係	35名
国立・公立研究機関	5名
企業関係	38名
合計	78名

再任 22名
 新任 21名
 留任 35名

以上

1995年度退任評議員

氏名	所属
石川 幹人	松下電器産業（株） 東京情報システム研究所
伊藤 英則	名古屋工業大学 工学部知能情報システム学科
内田 俊一	（財）日本情報処理開発協会 先端情報技術研究所
木下 哲男	沖電気工業（株） マルチメディア研究所
大力 修	新日本製鐵（株） エレクトロニクス研究所電子システム研究センター
寺野 隆雄	筑波大学 大学院経営システム科学専攻
西尾 章治郎	大阪大学 工学部情報システム工学科知識システム工学講座
牧之内 顕文	九州大学 工学部情報工学科
増田 功	セコム（株） I S研究所パターン情報処理研究部
松本 裕治	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
南 正名	（株）東芝 コンセプトエンジニアリング 開発部
三宅 なほみ	中京大学 情報科学部認知科学科

（五十音順）

以 上

正誤表

修正箇所	誤り	正
20 ページ		
積立金繰入れ支出		
ALT積立金の差引額	71,675	76,583

© 1996

社団法人 人工知能学会

J S A I (Japanese Society for Artificial Intelligence)
OS Bldg. 402, 4-7 Tsukudomachi, Shinjuku-ku, Tokyo 162, Japan
TEL. 03-5261-3401 FAX. 03-5261-3402

1996年度第11回通常総会資料

発行日：1996年6月26日
発行所：社団法人 人工知能学会
〒162 東京都新宿区津久戸町4-7 OSビル402
TEL. 03-5261-3401 FAX. 03-5261-3402
印刷所：(株) 昇宏堂
〒111 東京都台東区三筋2-10-14
TEL. 03-3861-2901~2905 FAX. 03-3861-2905